

平成27年度

小学校17校・中学校7校の

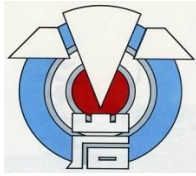
教 育 目 標

岩村田小学校

所在地 〒385-0022 佐久市岩村田2641-2

電話 67-3309 FAX 68-9765

E-mail iwamura@sakushi.ed.jp



校舎改築に伴う市営球場での運動会
5, 6年組体操のフィナーレ

外側の円（青色）は素直な心をもった人間。三角はつとめを進んではたす人。白い円は内と外の円に接し、「岩」と「小」をつないでみんな仲良く手を取り合う様子。「小」は平和を象徴するハトの図案化。中心の丸（赤色）は太陽のように健全で生命力にあふれた人間を表している。（昭和33年制定）

1 学校教育目標

ひとりになれる ひとつになれる

◇ひとりになれる（自立）

「場に応じて考え、自分の力を発揮できる子ども」

◇ひとつになれる（共生）

「力を結集すべき場・すべき時に主体的に関わり、活動を高めようとする子ども」

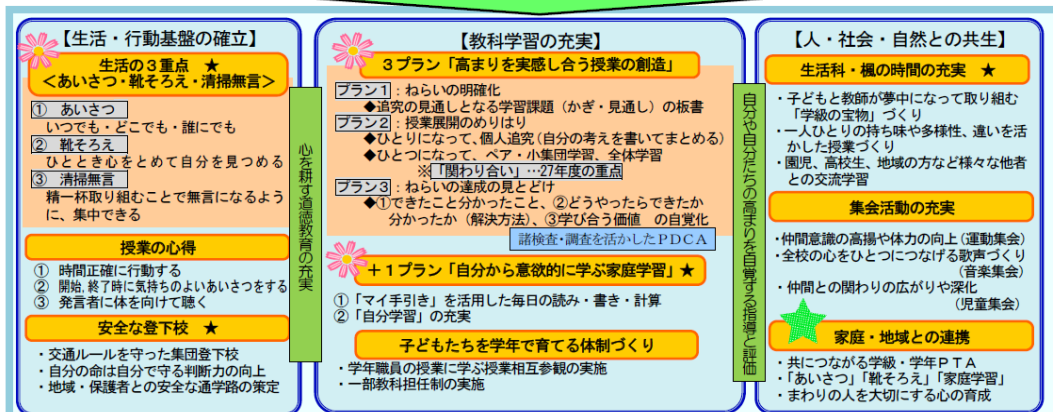
2 本年度の重点目標

【 願い 1 】
＜自己肯定感・自尊感情をもった岩小っ子＞
自分には、こんなすばらしいところがあると胸を張って言える岩小っ子

【 願い 2 】
＜自ら学ぶ岩小っ子＞
自分から手を出し、自分で考え、自分の言葉を紡ぎ出していく岩小っ子

【 願い 3 】
＜共に学ぶ岩小っ子＞
人の中で生活し、人と関わりながら学べる岩小っ子

3つの願いの具現に向け、【学級文化】の高揚を



3 特色ある教育活動

- 3プラン「授業のねらいの明確化」「授業のめりはり」「授業のねらい達成の見とどけ」+1プラン「マイ手引きを活用した自分学習の充実」を中核とした教科学習の充実
- 子どもと教師が「専心」できる生活科・楓の時間（総合）の実践（3年「ひまわりプロジェクト」5年「米作り」等）
- 佐久平総合技術高校、地域学習ボランティア、佐久大学等外部講師等、地域の教育力の積極的な活用
- 「靴そろえ」「清掃無言」を合言葉とした基本的な生活習慣の獲得



米作りからの発展 5年「マイ箸作り」

4 施設等の特徴



建築が進む新校舎

明治5年、佐久の第1番学校として龍雲寺に開校された本校は、今年で開校143年を数える。明治22年に天神町に校舎を移したが、昭和47年、現在の校舎のある上の城跡に移転した。当時、ここは野球場であったが、バックボードがそのまま残された校庭や、外野スタンドの客席をそのままギャラリーとして残した体育館には、当時の面影をみることができる。

学校北側には、戦没慰霊者を祀った招魂社の森や岩村田児童公園があり、子どもたちにとって憩いの空間となっている。

校舎の老朽化、1000人を超える大規模校解消のため、平成27年4月に岩村田小と佐久平浅間小に分離。現在新校舎の建築が進んでいる。

佐久平浅間小学校

所在地 〒385-0021 佐久市長土呂1717

電話 66-1717 FAX 67-7505

E-mail sakudairaasama@sakushi.ed.jp



「コスモスとバルーンのまち」佐久市。浅間山のように雄大で志高く、子ども達が健やかに育ち、優しく思いやりのある人材に育ってほしいことを願う。

「小」の文字は岩村田小学校からの分離新設校であるため、岩村田小学校の校章にある「小」を配置し、両小学校のつながりを校章に生かした。また、「小」の字の緑色は子ども達が若葉のように成長していく様子を表わしている。バルーンの外側の青は佐久市が晴天率が高く青空が広がっていることをイメージする。

1 学校教育目標

ひとりになれる ひとつになれる

◇ひとりになれる（自立）

「場に応じて考え、自分の力を発揮できる子ども」

◇ひとつになれる（共生）

「力を結集すべき場・すべき時に主体的に関わり、活動を高めようとする子ども」

2 本年度の重点目標

心と体をはたらかせながら共に学ぶ子ども

【願い1】自己肯定感・自尊感情を持った子 【願い2】自ら学ぶ子 【願い3】共に学ぶ子

3つの願いの具現に向けた 学級文化の高揚

生活・行動基盤の確立

- 1 生活の3重点
あいさつ・靴そろえ・清掃無言
- 2 授業の心得
時間・あいさつ・聴く姿勢
- 3 安全な登下校

教科学習の充実

- 1 【3プラン】高まりを実感し合う授業の創造
①ねらいの明確化 ②授業展開のめりはり
③ねらいの達成の見とどけ
- 2 【+1プラン】自分から意欲的に学ぶ家庭学習
- 3 子どもたちを学年で育てる体制づくり

人・自然・社会との共生

- 1 生活科・楓の時間の充実
「学級・学年の宝物」づくり
- 2 集会活動の充実
- 3 家庭との連携
- 4 地域との連携

3 特色ある教育活動

- (1) 3プラン「授業のねらいの明確化」「授業展開のめりはり」
「授業のねらい達成の見とどけ」
+1プラン「マイ手引きを活用した読み・書き・計算」
「自分学習の充実」を中核とした家庭学習の充実
- (2) 子どもと教師が「専心」できる生活科・楓の時間（総合）の実践「学級・学年の宝物」
- (3) 佐久平総合技術高校、老人福祉施設、地域の各種団体との交流など、地域の教育力の積極的な活用
- (4) 「あいさつ」「靴そろえ」「清掃無言」を合言葉とした基本的な生活習慣の獲得



＜ヤギのみみじちゃんとの生活＞

4 施設等の特徴



開放感あふれるワークスペース

平成27年4月、岩村田小学校の過大規模校解消のため、分離新設された本校は、岩村田小学校の教育理念を踏襲しつつ、新しい学校として、新たな一歩を踏み出した。北に浅間山、南に八ヶ岳、東に平尾山・荒船山、西に北アルプスを眺望する佐久平の中心に位置し、開放感ある学校となっている。校舎は、3階建て、南北2棟の配置となっている。内部は普通教室前に4mの広いワークスペースを備え、木材をふんだんに使った、明るい校舎である。児童数に合わせた広い校庭と体育館、集会活動などに使える多目的ホールを備えている。

中 佐 都 小 学 校

所在地 〒385-0025 佐久市塚原808番地

電 話 67-3418 FAX 67-3438

E-mail nakasato@sakushi.ed.jp

校 章



周囲に中佐都の「中」の文字と勉学を表すペンを配し、地の緑色に稲穂を添えて肥沃な米作地帯にあることを象徴させ、中央に小学校の「小」の文字を据えている。



浅間山と新幹線を背景に佐久平の中央に位置する中佐都小学校

1 学校教育目標

「かがやかに」なかさと小

（な）かよく （か）しこく （さ）いごまで ふるさとと （と）もに

2 本年度の重点目標

(1) 友を思いやり、ともに高め合う仲間づくり ～なかよく～

- ① 明るくあいさつができる。
- ② 規範意識を育み、それを基盤とした人権教育、道徳教育を充実させる。

(2) 「わかる授業の創造」と「体力向上」 ～かしこく～

- ① 基礎的・基本的な学力と体力の向上を図り、子ども達を多面的にとらえ、伸びようとする力を一層伸ばすことができるようにする。
- ② 授業がもっと良くなる3観点を生かした、分かる授業の構築を図る。
- ③ 体育学習や全校運動の中に、楽しみながら体力向上につながる計画を工夫する。
- ④ 自・情障学級について啓発するとともに、教育内容の充実を図る。

(3) 何ごとにも粘り強く本気で取り組む子ども達 ～さいごまで～

- ① 学校生活や毎日の学習に、めあてを持って粘り強くのぞみ、達成した時のよさを感得できるようにする。
- ② 自分の考えや思いを、はっきり相手に伝えられるように、順序立てた表現が身につけられるようにする。
- ③ 校舎内外の環境整備や清掃美化に努める。
- ④ しじみ清掃・整理整頓ができる。

(4) 中佐都を愛する心 ～ふるさととともに～

- ① 地域の方々との活動や交流を積極的に行う。
- ② 地域・家庭と連携した健康教育の推進。

3 特色ある教育活動

＜地域と連携した活動＞

- ・米、花、野菜づくり・ボランティアによるお話の会や学習支援
- ・わら細工講習会・中佐都青少年健全育成会・語りの会
- ・なかさと探検・シルバーポートつかばらの皆さんとの交流
- ・地域主催行事への参加 どんこ祭、ふるさと駅伝大会、健全育成標語、十日夜、獅子舞、御札配り、八日講等



地域主催行事「どんこ祭」への参加



学習支援ボランティアから焼き物を学ぶ

4 施設等の特徴

○ワークスペースのある各教室(可動間仕切り壁) ○中佐都郷土館(3階資料室) ○プラネタリウムを備えた展望室 ○社会体育併用の体育館 ○学校裏山の「カッテ石」(学習や遊びで活用)

高瀬小学校

所在地 〒385-0016 佐久市鳴瀬 1350-1

電話 67-2459 FAX 67-2482

E-mail takase@sakushi.ed.jp



<校章の由来>

養蚕を示す繭の形と稲作を表す米の形で「小」をつくり、豊かな高瀬の地を、またカタカナのタカセによって千曲川・湯川・滑津川を表現する。さらに、外円の8弁の図柄によって高瀬学区の8地区（今井・三河田・白山・横和・大和田・南岩尾・北岩尾・落合）を表現している。



1 学校教育目標



「かしこく つよく うつくしく」

「かしこく」学ぶ楽しさ・乗り越える楽しさを見いだす子ども（知性）
「つよく」ねばり強くやり抜くたくましい子ども（意欲）
「うつくしく」心身共に清々とした子ども（感性）

2 本年度の重点目標

- | | |
|----------------------------|-------------|
| (1) 意欲をもって取り組み、自ら考える子ども | 【わかり合う授業】 |
| (2) 根気強く清掃に取り組み、よく体を動かす子ども | 【根気強さを育む清掃】 |
| (3) 相手を大切にできる子ども | 【あいさつ・歌声】 |

3 特色ある教育活動

- (1) 「児童一人一人につけたい力」を明確にし、それが達成できる学習の創造。
 - ・児童一人一人の現状を把握した、授業のユニバーサルデザイン化
 - ・体験学習の推進（交流活動、調査・体験活動など人との出会いから学ぶ学習の充実）
 - ・児童の意欲を大事にした活動を展開する「まなびの時間」
- (2) 子どもが進んで読みたくなる読書活動の充実
 - ・日課に位置づけた朝読書「本ごはん」の時間、親子読書の日の設定
 - ・職員、保護者、地域ボランティア等による読み聞かせ
 - ・教科等とリンクした読書活動、読書旬間の充実（児童会の活動・親子読書の充実）
- (3) 子ども理解・個別指導の充実
 - ・日課に位置づけた放課後の「ゆとりの時間」での子どもと教師のふれあい、個別指導、運動遊びの奨励
- (4) 地域との共育をめざし、地域のひと・もの・ことと出会う「ふるさとこだま学習」
 - ・地域の方を講師に、ふるさと高瀬の地域や文化にふれ、地域の人々との関わりの中に学ぶ

4 施設等の特徴

- (1) 雨が上がればすぐに使用できる水はけのよいグラウンド
- (2) 多目的の野外ステージ（学年、学級や管楽器クラブの発表、コンサート、遊びなどに利用）
- (3) 学区内にチョウゲンボウの飛来地
- (4) 学区内に「千曲川交流スポーツ広場」（佐久バルーンフェスティバル・佐久鯉まつり会場）

野 沢 小 学 校

所在地 〒385-0043 長野県佐久市取出町472-3

電話 0267-62-0109 FAX 0267-62-5198

E-mail nozawasho@sakushi.ed.jp



統合した際に、校歌と校章を募集し新しくした。新しい校章は校歌とも関連している。2つの三角形は、校歌「浅間蓼科仰ぎつつ」の浅間山と蓼科山を表し、また、「水面におどる鯉のように」の鯉の尾鰭の形でもある。校歌の最後に、「のびゆけ野沢小学校」とあるが、未来に向かってのびてゆく翼でもある。真ん中の桜の花は、昔から本校にある魯桃桜を表しこの花のように寒さや苦しさに負けない強い心と魯桃桜のようなやさしく美しい心の持ち主になってほしいとの願いでデザインされた。



1 学校教育目標

やさしく かしく たくましく ～思いやりのある優しい子 気づき考えるかしこい子 粘り強くやりぬくたくましい子～

2 本年度の重点目標

- * 「学習の約束」の徹底
 - ・見て聞く、見て話す、「はい」と返事、ていねいな言葉の定着
- * 「思考力・表現力」を育てる授業
 - ・わらいを明確にした授業を行い、わかったこと・疑問点等をノートに記録
 - ・ディベート学習や男女4人グループ学習の取組
- * 「仲間づくり」
 - ・気持ちのよいあいさつ活動
 - ・エンカウンター、ソーシャルスキル教材を用いた授業実践
 - ・縦割り活動の充実 ・交流及び共同学習
- * 「教師力」の向上
 - ・授業をとおした研修に勝る研修はない。互いの授業を参観し、児童と同僚から学ぶ実践。
 - ・特別支援教育、児童理解についての研修。
- * 「地域・家庭・学校」の連携
 - ・学習支援ボランティア、読み聞かせボランティア、託児ボランティア等による学校支援。

野沢の鐘



3 特色ある教育活動

- * 児童理解を基盤としたどの子ども「楽しい」「わかった」を実感できる授業づくり
 - －「わかった」と感じる授業構想の練り上げ、「楽しいな」と感じる授業場面の工夫、発表場面で「うれしいな」と感じる認め合える集団づくり、「やった」と感じる学習カード等による個々の学びの評価
- * 1時間の授業に言語活動（書く・話す・聞く）を位置づけた思考・表現の育成
- * 「学年一学級」を合言葉にした交換授業の実施と学年職員全員による深い児童理解
- * 体験活動を中心とした教育実践
 - －価値ある事柄にふれさせ意欲を引き出す取り組み、地域の人・もの・こととの交流活動
- * 道徳時間の充実 一心のふりかえり、立ち止まって考える子の育成
- * 人権教育・特別支援教育を基盤とした一人一人への支援の充実
 - －生活記録等を通した子どもとの対話、子どもの人間関係の確かな把握、人間関係づくりに視点を置いた学級経営等の充実、個別の支援計画の充実、複数の教師によるチーム支援体制の充実
- * 特色ある学校行事
 - －いなごとり集会、緑の少年団活動（大沢地区児童）、教師と子どもが向き合い語り合う「相談旬間」の実施
- * 自己に問いかけ、自己と向き合う6学年児童による朝清掃活動
- * PTA活動－「地域ふれあい祭り」、保護者・PTAによる「本の読み聞かせ活動」
- * 地域住民の自主参加による子どもたちの「安全見守り隊」の活動
- * 学校だより「や・か・た」の発行（地域、保護者への月1回の発信）

4 施設等の特徴

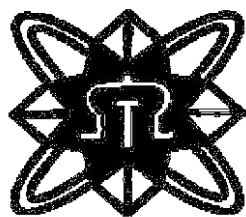
- * 野沢の鐘－子どもたちや地域の方々が愛着を持つ野沢小学校のシンボル、大切な行事に響く野沢の鐘
- * 県民グラウンドに隣接する豊かな学習環境や自然環境
- * ぴんころ地蔵のある成田山参道で行われる山門市

泉 小 学 校

所在地 〒385-0055 佐久市三塚273-1

電 話 62-0394 FAX 62-7048

E-mail izumi@sakushi.ed.jp



校章の由来

二つの楕円と四本のペンを組み合わせ、中央に泉をあしらったもの。

楕円は円満・平和と四つの通学区、前山 桜井 泉 三塚 を表しています。



1 学校教育目標

清く・正しく・たくましく

- ① 素直で明るく、優しい心を持った子 (情)
- ② よく考えて正しく判断し、行動できる子 (知)
- ③ 丈夫な体と粘り強い心を持った子 (意) (体)

2 本年度の重点目標

③ すすんで学び力をのばす泉の子

わくわく

友だちの考えと関連づけて発言しよう



① しっかり聞いてはっきり話す泉の子

はきはきはき

落ち着いて最後まで話を聞こう

② 自分で考えて行動する泉の子

のびのび

清掃の15分間無言で自分から働こう
感謝の気持ちを持って食事をしよう

3 特色ある教育活動

(1) わかる授業

- ・学習内容の定着化(ドリル時間の活用、家庭学習習慣の形成)
- ・グループ追究や全体追究などの学び合いの時間

(2) 特色ある教育課程

- ・泉小独自の算数検定(目標を持って自ら学ぶ意欲を育てます)
- ・おにぎりの日の実施(自分で作る楽しさを感じ得します)
- ・地域ボランティアの教育力の活用(語り・読み聞かせボランティア「おはなしの泉」、学習支援ボランティア「花まるいずみ」:算数・家庭科など)

(3) 楽しい学校

- ・呼び捨てをなくす人権教育の推進
- ・自分と相手の気持ちを大切にすることを学ぶソーシャルスキルトレーニングの実施

4 施設等の特徴

- ・平成27年8月体育館の吊り天井の改修工事行い、併せてLED照明となった。

岸 野 小 学 校

所在地 〒385-0061 長野県佐久市伴野 1725

電話 62-0384 FAX 62-0542

E-mail kishino@sakushi.ed.jp



旧佐久市のマークに3本の若竹の葉を添えて、中央に「岸野」の文字をデザインしたもの。



1 学校教育目標

～わか竹の 伸びゆくごとく 子どもらよ 真すぐにのばせ 身をたましひを～
自ら考え 支え合って たくましく生きる子

2 本年度の重点目標

- (1) 自ら考え、仲間と考え合い、主体的に学習をする。

＜授業づくりの研究テーマ＞

自分のよさを生かして思いや考え方を表現できる子どもを育てるにはどうしたらよいか
～聞くから始まる学びをめざして～

- (2) 気持ちを込めたあいさつをし、人を大切にする。
(3) 清掃やマラソンからやり遂げる気持ちよさを感じる。

3 特色ある教育活動

- (1) 一人ひとりが安心して学習できる環境づくりを基盤とした学び合う授業。
(2) ねらいや振り返りの観点を明確にした岸野式学習を全校で取り組むことで生まれる安定した学びのリズム。
(3) なかよし集会、なかよし読書など全校縦割り班活動による子ども同士のふれあいの充実。
(4) コスモスワークス祭や敬老会などへの参加による地域との交流。

4 施設等の特徴

- (1) 校外にマラソンコースを設け、朝マラソンやマラソン大会を実施している。コース整備には地域の方の協力も得ている。
(2) 広々としたオープンスペースを使い、グループ学習や異学年の交流を進めている。
(3) 地域総合型スポーツクラブとして「岸野スポーツクラブ」があり、子どもたちは様々なスポーツに親しんでいる。
(4) 学区内の各地区で正月に演じられる獅子舞はそれぞれに特徴があるので、地域学習も兼ね獅子舞集会として全校が見合う場を設けている。

中 込 小 学 校

所在地 〒385-0051 佐久市中込491番地

電 話 0267-62-0065 FAX 0267-62-6212

E-mail nakagomisho@sakushi.ed.jp



旧中込学校の開校と共に植えられた藤を表す。

学問追究・進取の精神を、藤の花のつるのように長く受け継ぎ、文化の花の香りを伝えて欲しいとの意が込められている。



1 学校教育目標

「かしこく ゆかしく たくましく」
願う子ども像 よく考える子ども（知）
思いやりのある子ども（徳）
ねばり強い子ども（体）

2 本年度の重点目標

「聴いて 考えて 動ける子ども」
○自分の生活や行動を振り返る場の設定
○学ぶ意欲を高めるための工夫
○目・耳・心を向けた認め合える交流活動の推進
○あいさつ・返事・友の呼称を通した生活力の育成
○無言清掃
○課題意識を深めた目標実現への取組
○健全な心と体づくりの活動

3 特色ある教育活動

○ドリル学習および読書活動に重点をおいた朝の活動の編成
○自己の学びを振り返る子どもの姿に焦点をあてた授業研究の推進
○児童会活動を中心としたあいさつ運動の展開と人権教育の充実
○児童を主体としたなかよしタイムや児童祭の運営
○地域の人材を生かしたクラブ活動の運営
○児童一人一人と向き合うことを大切にしたい教育相談週間の設置

4 施設等の特徴

○校舎周辺に梅、栗、栃、どんぐりなど実のなる木が多く、生活科や総合的な学習の学習材として活用されている。
○本校の前身となる旧中込学校が近くにあり、開校記念行事への参加や清掃活動などを通して、本校の歴史に触れる場を設けている。
○近くの成知公園では、子どもたちが学年を越え、関わり合いながら遊ぶ姿が見られる。

佐久城山小学校

所在地 〒385-0034 佐久市平賀5325-1

電話0267-62-0356

FAX0267-62-0118

E-mail: iovama@sakushi.ed.jp



コスモスの花の校章には「宇宙のように壮大な望みをかけ、調和のとれた学校を築こう」「誰にも負けないたくましさ 清純な心を育てよう」という願いが込められている。



1 学校教育目標

「本当の生き方を求め”自分の手足を動かし、頭を働かせ、心で感じとる”」

手足を動かす 全ての学習や学校生活で十分に体を使って動かす

頭を働かせ 自分らしい考え方や、やり方ができる

心で感じとる 五感を使って自分らしい感じ方ができる

2 本年度の重点目標

- のびのびと自分の思いを語り、のびのびと手足を動かし、表現できる子どもたち『城山2015プラン』
子どもたちが生き生きと学校生活が送れるために、授業改善と学力・体力向上に向けた取り組みをするため、子どもの声に耳を傾けた人材育成のための教育プラン

- (1) 自らつくり上げる学校
- (2) とともに学ぶ楽しい学校
- (3) 心温かい笑顔いっぱい为学校

以上三点を本年度の重点とし、その具現に向けて取り組んでいる。

3 特色ある教育活動

- ふるさとの歴史と文化に学ぶ学習

- ・ 伝説と人々の暮らし、米づくりを通して学ぶ暮らしの知恵

- 豊かな自然と人に学ぶ学習

- ・ 地域の方が大切にしているサクラソウから学ぶ「ふるさとの学習」
- ・ 地域の方々と共同でジャガイモや麦づくりをし、調理を行う
- ・ 楽農クラブの方々の協力を得て畑の作物作り
- ・ 滑津川での自然体験や観察
- ・ 内山の竹を使って「竹太鼓」

- 国際化・情報化に対応した学習

- ・ ALTによる英語体験学習（全学年）、英語コミュニケーション活動
- ・ インターネットを活用した学習
- ・ 読み聞かせボランティアによる全校読み聞かせ活動

4 施設等の特徴

本校は、昭和56年、旧平賀小学校と内山小学校が統合され誕生した。北に浅間山、南に八ヶ岳・蓼科山の連邦を仰ぎ、東に山岳信仰の荒船山をひかえた山紫水明の地に位置している。学区内には、コスモス街道や、サクラソウ群生地、菜の花畑があり、季節には多くの観光客でにぎわっている。

平根小学校

所在地: 〒385-0002 佐久市上平尾936

電話 67-3539 FAX 67-9085

E-mail hirane@sakushi.ed.jp



近くの平尾富士山にちなみ、富士山のような高い志を持つ子どもの育成を期して昭和40年に制定



平根小自慢の桜の木

1 学校教育目標

聡く・明るく・たくましく

地域・保護者と連携した「ひらね」の子の育成

人・ものとのつながりを感じ、自分を高める子どもの育成

2 本年度の重点目標

ひ・・・「ひたむき」に勉強し

ら・・・自分「ら」しさを大切に友だちのよさをみとめながら

ね・・・「ねばり」強く活動する

「ひらね」の子



①どの子も分かる授業づくり②地域を学ぶ・地域で学ぶ・地域に学ぶ③明るいあいさつ

3 特色ある教育活動

【分かる授業】

◇授業改善に向けて

・ねらい・まとめの位置付いた授業づくり

・子どもが自分の言葉で語れる授業づくり

◇検査結果を生かす

・諸検査結果の分析と改善

【楽しい学校】

◇健やかな心と身体

・マラソン・外遊び
・本に親しむ
・”しじみ”清掃

◇他学年とのふれあい

・縦割清掃・なかよし集会
・スマイル祭り
・ペア読書

【地域と結ぶ】

◇地域を学ぶ・地域で学ぶ
地域に学ぶ

・総合的な学習の時間の充実

・平尾山もみじマラソン

・平尾山登山

◇明るいあいさつ

・あいさつ運動

4 施設等の特徴

○保護者の学習参加・・・朝の読み聞かせ、稲作

○総合的な学習の時間で平根地域の行事や平根水力発電の学習

○平尾山もみじ祭りへの参加・学童マラソン

○徒歩で行かれる地元にあるパラダスキー場でのスキー教室の実施

○地域行事に積極的に参加・・・敬老会・運動会・もみじ祭り



東 小 学 校

所在地 〒385-0006 佐久市志賀6128-1

電 話
E-mail

68-6829 FAX 68-6931

higashisho@sakushi.ed.jp



平成3年制定。市花コスモスと校名を中央に配し、周りのかつての湖を表す赤い円が囲む。右上の青は香坂川、下が志賀川。合流して西に流れ、また、青色全体でeastのEを、さらに宇宙を行く宇宙船の形を模している。



1 学校教育目標

豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども
ひ ひろく豊かな思いやりの心と 〈支え合い、協力できる子〉
が がんばりぬく強い意志を持ち 〈進んで体を鍛え、めあてを持ってやりぬく子〉
の しっかり考え 本気で学び 〈深く考え、粘り強く追究できる子〉
こ 伸びて未来に羽ばたく 建学の精神「飛翔」をいつも心に、自己の未来を
「ひがしの子」 たくましく切り開いていく「ひがしの子」に育つ

2 本年度の重点目標

ひ 「ひろく豊かな思いやりの心と」
→ 進んで元気な挨拶をしよう。
が 「がんばりぬく強い意志を持ち」
→ めあてを持って掃除や体作りをしよう。
し 「しっかり考え 本気で学び」
→ 思いを聴こう、語ろう、創ろう。



稲作体験（田植え）

3 特色ある教育活動

旧志賀小・三井小が統合した東小創立時の建学の精神や地域の方々の願いを大切にして
～地域の方々との交流、史跡の見学、栽培活動などの体験的な活動を通して学ぶ～

【各学年の活動例】

- 1 学年 東保育園や地域幼稚園・シルバーランドみついの交流、お手玉教室
- 2 学年 大豆作り、豆腐作り、東保育園との交流
- 3 学年 地域探検（赤壁の家、つついの池ほか）
- 4 学年 東公民館との交流
- 5 学年 稲作体験（田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭）、わら細工
- 6 学年 地域の遺跡見学、地域のお寺巡り

4 施設等の特徴

（1）学校校舎内

- ①各学年にある広いワークスペース ②多目的ルーム

（2）学校敷地内

- ①グラウンドの築山 ②1学年教室南側の砂場 ③グラウンド周辺のマラソンコース

（3）学校近隣の施設等

- ①旧志賀小学校 ②志賀の神津家（赤壁） ③雲興寺、安養寺、明泉寺
- ④つついの池 ⑤権現山 ⑥関伽流山 ⑦大塚古墳 ⑧茨城牧場長野支場
- ⑨志賀川・香坂川 ⑩シルバーランドみつい ⑪こまば学園 ⑫香坂新田の碑
- ⑬大関伽流山小倉観音堂

田 口 小 学 校

所在地 〒384-0412 佐久市田口3000-1

電 話 82-2331 FAX 82-2408

E-mail taguchi@sakushi.ed.jp



明治末に制定。設計図をアレンジした五稜郭の中に、城内に咲く約500本の桜の花弁を配置。中央の「小」の文字は、お堀にかけられた3カ所の橋のアーチを思わせる左右対称のデザイン。



1 学校教育目標

「五稜郭の中で自ら輝く子ども」をめざし

- ・かしこい人になろう
- ・おもいやりのある人になろう
- ・ねばり強い人になろう

2 本年度の重点目標

全校研究テーマ

「言語活動の充実を通して児童が学習力の高まりを実感できる授業」

- ・意欲を持ち、ともに学び合う授業実践
- ・伝え合う力の育成
- ・目を重ねる体制
- ・豊かな人間関係の育成
- ・へこたれない心の育成

3 特色ある教育活動

- 日々の授業改善
- 児童理解に基盤をおいた授業構想
- 着実な家庭学習（自主学習）の推進
- 学習支援ボランティアの効果的活用の推進
- 読む、聞く、話す、書くことを通して考えを深める。
- 教師と児童、児童と児童の関わり合う授業
- 児童の自己評価、相互評価のある授業
- ふるさと田口に学ぶ子ども
- J R Cの精神に基づいた生活

4 施設等の特徴

国の史跡「五稜郭」の中に位置する本校は、「お台所」を始めとして、敷地全体が子どもたちの歴史学習の場となっている。また、近隣の「杣形」「新海三社神社」など数々の文化財や、隣接する「であいの館」、五稜郭公園内の「川村吾蔵記念館」等『歴史と伝統の中で育つ子ども』の育成に恵まれた環境となっている。

青 沼 小 学 校

所在地 〒384-0621 佐久市 入澤 152番地1

電話 0267-82-2181

FAX 0267-82-0304

E-mail aonuma@sakushi.ed.jp



上下左右に4本の「剣」と、対角に4本の「ペン」を組み合わせ、8方位の中心に「青沼」の青が据えてある。
明治年間にできたと伝えられるが、『文武両道に、秀でる』という人々の願いが、今も脈々と息づいている。



かしこく

やさしく

たくましく

1 学校教育目標

感じ・考え、判断し、意欲的に学び合い、行いう子ども

友だち・学校・郷土や自然を愛し大切に思いやりのある子ども

最後まで粘り強くがんばり抜く子ども
健康、安全に心がけ、身体を鍛える子ども

2 本年度の重点目標

重点1 「読む・書く・歌う」	重点2 「あいさつ・返事・くつそろえ」	重点3 「遊び学び」
(1) 読書活動の充実 (2) 楽しく分かる授業 (3) 歌声のひびく学校	(1) 床と心を磨く(あいさつ、返事) (2) よさを認め安心できる学級づくり (3) 特色を生かす異学年交流や縦割り活動	(1) 多様な活動機会の提供 (2) ふるさとに学ぶ体験的活動 (3) 得意を伸ばす家庭学習

3 特色ある教育活動

＜地域の人、もの、ことと関わる体験活動＞

～信頼関係を深め、共にのびていくよさを実感し合う～

- ・ 青沼共有学習会
- ・ 栽培活動(花・野菜・リンゴオーナー・米・きのこ 等)
- ・ 地域の講師に学ぶクラブ活動
- ・ 保小中の連携、他校、福祉施設との交流活動
- ・ 伝統あるスポーツ、芸術活動
- ・ 各種ボランティアの協力と安全・安心の確保

＜楽しくわかる授業＞

- ・ 思考・判断・表現する場を大事に言語活動の充実を図る
- ・ 児童が見通しをもって課題解決できる授業づくり
- ・ 一人一公開授業の実施
- ・ 学習自己評価アンケートの実施
- ・ 教職員の力量を高めるため研鑽(Q-U研修等)
- ・ 連学年授業、交換授業の実施



地域講師を招いてのクラブ活動
福祉クラブ
「あおぬまの家」との交流

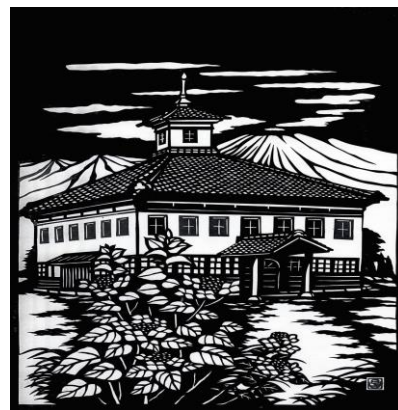
4 施設の特徴



地域の教育力を活かす
地域講師に学ぶ「青沼共有学習会」
『地域めぐり講座』



佐久スケートの伝統を受け継ぐ
「田んぼリンク」でスピードスケート
滑走をする児童ら



明治9年(1876)設立の「要道学校」
・地域の拠所としての小学校

切 原 小 学 校

所在地 〒384-0305佐久市中小田切100番地1 電 話 82-2079

FAX 82-0292

E-mail kirihara@sakushi.ed.jp



三つの山型は上が蓼科山を表し、両側は小田切の山を示し、これらの山に囲まれた扇状地の中央に小学校がある。山は気高い心を表わす。切は桐に同音で、桐は高く上品な木である。三つになっているのは桐車と言って、車のように回転していきいきと発展していく意味を持っている。まわりの二本の線は片貝川を示し、青い色は清き流れ、清き心を示している。

1 学校教育目標

明るく 正しく 仲良く ～ともに学び とともに遊び とともに育つ～

明るく

- ・ 明るい挨拶や返事のできる子ども
- ・ 自分の命を大切にし、健康でたくましい子ども

正しく

- ・ 自分の考えを持ち進んで学習に取り組み、一生懸命学ぶ子ども
- ・ 決まりよい生活のできる子ども

仲良く

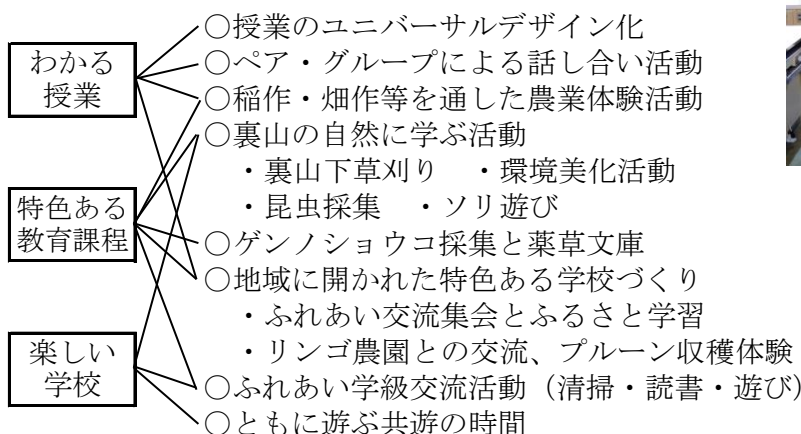
- ・ 自他の良さを認め合い、ともに育つ子ども
- ・ 思いやりのある子ども

2 本年度の重点目標

自分で考え、自分から行動する子どもの育

- ① 自他の良さや違いを認め合える学級づくり（仲良く）
- ② 分かる授業、学力の定着をはかる授業改善（正しく）
- ③ 明るい挨拶、返事ができ、健康と安全に気をつけた丈夫な体づくり（明るく）
- ④ 地域の教育力、自然や文化環境を生かした学習

3 特色ある教育活動



ふれあい交流集



共遊の時間

4 施設等の特徴

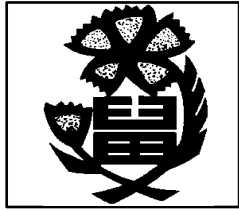
- ・ 地権者の好意により借用している学校北側の裏山
- ・ 湯原神社「式三番叟」（長野県無形文化財） ・ 滝観音

臼田小学校

所在地 〒384-0301佐久市臼田264-3

電話 82-2024 FAX 82-5134

E-mail usudasho@sakushi.ed.jp



明治41年に制定。ナデシコの花がデザインされている。

冬の寒さに耐え、荒れ地に根を張り、美しい花を咲かせるこのナデシコのように、やさしく清らかに、たくましく育てほしいという願いが込められている。



1 学校教育目標

一人ひとりが大地の星に

「かしの木のように根をはって」

「なでしこの花のようにほほえんで」

2 本年度の重点目標

自分から チャレンジ あいさつ 学習 元気

○明るいあいさつをする

・友だちのよいところを見つける ・やさしい言葉をかける ・他学年の友だちとも仲良くする

○すすんで学ぶ

・はっきり伝える ・人から学ぶ ・自分で考え、乗り越える

○すすんで挑戦、やりとげる

・へこたれない ・心も体も元気である ・よく遊ぶ ・だまってそう

3 特色ある教育活動

(1)「コスモスプラン」「授業がもっとよくなる3観点」を大切にした授業づくり。

(2)N I E，理科の全校体制での研究。

(3)少人数学習，学年合同授業など児童の実態に合わせた学習形態の工夫。

(4)花いっぱい活動

・秋のF B C花壇コンクールに参加。
・地域の施設や商店街へのプランター配布。

(5)地域の方を講師とした学習活動

・クラブ活動，読み聞かせ，米作り，有機野菜栽培，習字。

(6)臼田高校や老人介護施設などとの交流活動

・高校生との栽培活動。小満祭への金管バンドの参加。
老人介護施設との交流活動。



4 施設等の特徴

(1)臼田地区や遠く佐久平を見渡すことのできる展望室。

(2)体育の学習や社会体育で活用している2つの体育館。

(3)総合的な学習の時間や生活科などの栽培活動でお世話になっている水田や農園。

(4)水辺の生き物の観察や水遊びなどを楽しめる千曲川，片貝川。

(5)校内音楽会の会場としてお借りしているコスモホール。



浅 科 小 学 校

所在地：〒384-2104
佐久市甲 2003-1

電話：58-2102 Fax：58-3213
E-mail：asashinasho@sakushi.ed.jp



雄大な浅間山、蓼科連峰に囲まれた豊かな
田園の中で、仲良く逞しく育つ学び舎、浅
科小学校を表している。

1 学校教育目標

夢や憧れに向かって学び合う

2 本年度の重点目標

(1) 主体的な学びの構築

- ・子どもたちが主体的に学習や活動に参加する授業を目指す。
- ・生活科、総合的な学習の時間を軸とした学級経営を行い、思考力や判断力、自分の思いを自分のことばで表現する力の育成を図る。

(2) 豊かな心の育成

- ・あいさつができる子を育成するとともに、特別支援教育の充実や、差別のない心を育むための道徳教育、人権教育を充実させる。

(3) 一人ひとりが大切にされる学校

- ・一人ひとりの良さを大切にし、自己肯定感を高め、進んで学ぼうとする気持ちを高める。
- ・健康な心と体を育むために、一人ひとりに応じた生徒指導の充実を図り、自立と生きる力の向上をめざすとともに、命や健康を大切にする教育の充実を図る。

3 特色ある教育活動

(1) フラワーロードの活動

- ・地域の方々のご指導、協力を得ながら国道沿いに花を植え、育てる活動を通して、地域を愛し、地域に貢献しようとする心情を育てる。

(2) 米作りにかかわる学習

- ・社会科学習や米作りの学習等を通して、市川五郎兵衛をはじめとする先人の努力を知るとともに、友と支え合い、学び合う喜びを体得する。

様々な交流活動

- ・緑の牧場学園、小諸養護学校、浅科老人クラブ、あさしな保育園など地域内外の様々な人々との交流を通して、自分が住む浅科地区のことやそこに住む人々について知り、人に対する思いやりの心や、自ら考え、行動する力を育む。

4 施設等の特徴

(1) みなこいランド

- ・木々に囲まれ、自然を体感できる場所。水が流れ、子どもたちの豊かな活動を支える遊び場となっている。

(2) 五郎兵衛用水

- ・学校のすぐわきを流れ、4年生の社会科学習、5年生の米作り活動を支えている。

望 月 小 学 校

所在地 〒384-2204 佐久市協和5229番地

電 話 53-2208 FAX 51-1118

E-mail mochizukisho@sakushi.ed.jp



「駒の里である望月の歴史と伝統を馬蹄の形」に、「バックの緑色は自然豊かな望月の山々」そして「若木のように伸びやかに育つ子どもたち」「文字の水色は望月の美しい水と空」をイメージしました。



望月小学校全景

1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

めざす子どもの姿

- ①かしこく：「よく聴き・考え・表現する」子ども
- ②やさしく：「人を大切にする」子ども
- ③たくましく：「挑戦する」子ども

2 本年度の重点目標

- ・心を動かして学び、確かな力をつける教育活動の実践
- ・すべての子どもが学びに参加し、自己肯定感を高められる環境づくり
- ・保護者や地域とともに育つ学校づくり

3 特色ある教育活動

- (1) 公開授業研究会：すべてのこどもが学びに参加し、学習することの喜びを感じる授業づくりをめざし、「コの字型の学習形態」「4人のグループ学習・ペア学習」を取り入れた学習公開
- (2) みどりの少年団活動
- (3) 親子林道整備作業
- (4) 育林体験学習
- (5) 望月教育プラットホームとの連携
- (6) 地域人材の活用
 - ① PTA・読書ボランティアによる読み聞かせ会
 - ② 4年英語コミュニケーション活動
 - ③ 米作り、習字の指導



4 施設等の特徴

- (1) 開かれた学校の一環として、教室はオープンスペースとなっている。
- (2) 各学年を一つのユニットとして仕切り、学年室をユニットの中央に配置してある。
- (3) 各学年のユニットには、学習・集会活動に使える多目的室が一室配置されている。
- (4) メディアセンター（図書館）、体育館ステージバック、職員室の壁がガラス張り。
- (5) 校舎と校舎の間に子どもたちが遊べるスペース（一輪車広場）がある。
- (6) 体育館の向かいに子どもたちが自由に遊べたり、集会をしたりすることができるスペースがある。
- (7) 校庭からは、北に浅間山、南に八ヶ岳を望むことができる。
- (8) 望月町には比田井天来記念館、望月郷土資料館等があり、普段の学習に利用している。

浅間中学校

所在地 〒385-0022 佐久市岩村田 1361 番地

電話 62-2410 FAX 62-2411

E-mail asamachu@sakushi.ed.jp



校章は、昭和37年1月15日、浅間中学校実質統合を前にして、浅間中学校を象徴する品位を持ち、地方色豊かな図案を一般より募集した作品から選ばれた。その意味するものは、蓼科・八ヶ岳・浅間の山々に取り囲まれたわが浅間中学校に学ぶ子どもたちが、希望に燃え、互いに励まし、情操高く知を深くして、やがて巣立ちゆくその姿を象徴したものである。

1 学校目標 情操高く 知は深く ～故郷の山 浅間山のような～

○誇り高き 浅間中学生 ○熱く燃える 浅間中学生 ○美しき 浅間中学生

2 本年度の重点目標 キーワード ～律する・徹する・極める～

学習活動 : 表現すること、活動すること、関わり合うことを通して、伸びる力を一層伸ばす「わかる授業」を行う。

生徒会活動 : 生徒自らの手でよりよい浅間中学校を創造する。

部活動 : 「自分に克つ 勝負に勝つ」を目標に掲げ、部活を通して人格形成を図る。

※目指す生徒像

①相手の立場に立ち、よりよい人間関係をつくろうと努める生徒（あいさつが響き合う学級や学校）

②自分の考えを持ち、友と関わり合って学び、振り返って確かめる生徒（学習、道徳、合唱）

③浅間中生としての誇りと気品を持ち、自らを高める生徒（通学、清掃、身支度）

3 特色ある教育活動

(1) 学習指導

①確かな学力を身につけるために、「約束」を徹底し生徒が「学びを実感できる授業」をめざす。

・「浅間中 授業の四つの約束」を徹底する

i) チャイム着席

ii) 心を込めて「おねがいます。」のあいさつ

iii) 指名されたら「はい」という返事

iv) 発表は、大きな声ではっきりと

・「学びを実感するために」

i) 授業のめあての確認・把握

ii) 集中した追究（一人で・学び合って）

iii) 生徒自身のめあての振り返りと評価・支援

②学び合いの学習を通して、生徒同士が共に高め合う授業をつくる。

③深め、振り返る場面では「書く活動」を取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

④家庭学習の手引き「文武両道」の活用や「相談の時間」を確保して、学力の定着を図る。

⑤総合的な学習の時間では、人から学び、人に伝える活動を通して、自己の生き方を考える。

(2) 自分に克つ・勝負に勝つ部活動の充実

①部風を確立する。 ②あいさつ・礼儀・マナーなど社会人として必要なものを身につける。

③人間尊重の精神に基づく指導。 ④保護者、地域と共に築き上げる部活動。

(3) 生徒会による校風づくり 生徒会スローガン「Starry ～輝（ヒカリ）千を照らせ～」

①あいさつ運動を常時活動にし、あいさつがとびかう明るい学校。

②清掃に打ち込み校舎を磨くことで、自分自身の心を磨く清掃。

③日常生活の活動をより充実させ、気持ちのよい学校生活を送り、地域に誇れる浅間中学校を創り上げる。

④熱く燃える「第43回浅岳祭」を実現する。

⑤地域貢献活動を行う ○浅間中西交差点地下道の清掃 ○体育館北から浅間中西交差点間の花壇作り。

(4) 楽しい学校

①自主的な係活動を取り入れ、団結や克己心、友だちへの思いやりを深める学年行事「蓼科高原キャンプ」「北アルプス山麓学習」「京都・奈良修学旅行」。

②互いに認め合い、支え合える人間関係作りを大事にした開かれた学級や学校づくり。

4 施設等の特徴

50周年記念事業で植栽した校門から職員室西側の緑地帯も葉を茂らせ花を咲かせている。平成24年度より地域の方々への潤いを目指し、信州ふるさとの道ふれあい事業に参加し、体育館北から浅間中西交差点までの間の花壇作りを行い、「佐久市緑のある街づくりコンクール」で、平成26年度・27年度と2年連続で「最優秀」を受賞している。また、プランタでの花の栽培等、潤いのある環境作りに取り組んでいる。



野 沢 中 学 校

所在地 〒385-0022佐久市野沢335-1

電 話 62-0360 FAX 62-2401

E-mail nozawachu@sakushi.ed.jp



・校地周辺の水田に繁茂する「おもだか」の花と葉をデザインしたもの。

・素朴で単調な葉、清楚な白い小花をつける
「おもだか」は苦難に耐えて、黙々と生き、見栄、へつらいを知らず、たくましくこの地に育つ。

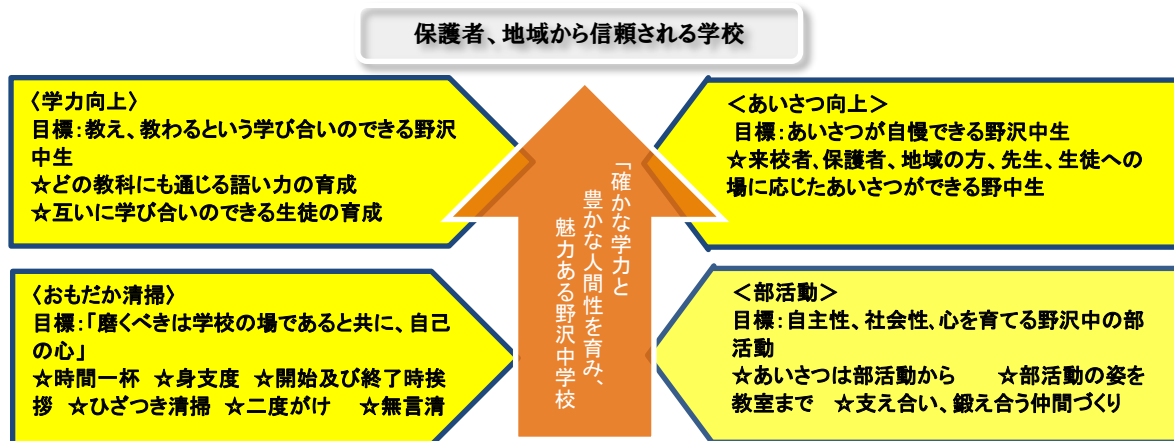


1 学校教育目標

「ゆたかに」・・・相手を思いやり大切にする
「たしかに」・・・目標に向かって努力する
「たくましく」・・・粘り強く最後までやり抜く

2 本年度の重点目標

目標達成型の学校づくり 係型からプロジェクト型へ



3 特色ある教育活動

総合的な学習の時間を使っての体験学習	地域の中の学校
・1年 「ふるさと」を題材とした俳句や短歌の創作と地域の短詩系文学愛好の皆さんとの交流 ・2年 地域の企業の職場体験学習 ・3年 福祉関係事業所での福祉体験学習	(1)生徒会活動を通して充実した学校生活に ・アルミ缶回収による資金で、車椅子を購入し、福祉施設に寄贈 ・生徒会によりゴミ拾い活動 (2)地域との交流活動の充実(PTAバザー・吹奏楽、合唱コンサート等)

4 施設等の特徴

【新校舎改築】 平成15年4月 管理棟特別棟起工式 平成17年9月 生徒棟引き渡し
平成19年5月 野沢中学校改築事業 竣工式

〈周辺〉 近くにはピンコロ地蔵が奉られている成田山薬師寺や藤村の旧宅のある貞祥寺（前山）や「おどり念仏」の西方寺などがある。また、2ヶ所の酒造所があり、鯉や鮒の養殖（桜井地区など）が盛んである。

中 込 中 学 校

所在地 佐久市平賀2313番地

電 話 0267-62-0725 FAX 0267-62-2876

E-mail nakagomichu@sakushi.ed.jp



3つの楕円は、太陽を中心として運動する太陽系の軌道をかたどり、永遠の生命を表しています。また、原子の姿をも表し、科学を象徴している。私たちの学習が、科学を探究し、合理性の美を愛し、円満な人格をつくって立派な社会人になるよう努めることを表しています。また、合併前の旧三カ町村が、一つの理想のもとに永遠に活動していく姿をも表しています。

1 学校教育目標

笑顔があふれ、学びと活動がある学校

2 本年度の重点

(1) 学びのある授業づくり

(2) 学友会・学年会を軸とした集団づくり

(3) 挑戦を通しての自分づくり

(4) 意見の言いやすい風通しのよい学校づくり

○ねらいの充実と確実な見とどけを
大切にする授業
○小中連携による「学習の手引き」の
活用
○生徒の自主性を活かした「秋桜祭」
の実施
○参観日や学校評価による学校改善

3 特色ある教育活動

地域とかかわり、地域から学ぶ中込中学校

(1) 学友会による活動

全校生徒による、地域清掃(ゴミ拾い清掃)、を通して地域への感謝の気持ちを伝えています。また、資源物回収で得た基金を使い、総合的な学習の時間でお世話になっている地域の福祉施設へ車いすや簡易ベッドなどを贈っています。

(2) 総合的な学習の時間 ～ふるさと佐久学習～

1年「佐久を知る ～知っているようで知らない身近な地域を探究する～」、2年「佐久で働く ～地域での職業体験学習を通して、働くことを考える～」、3年「佐久に貢献する ～ボランティア活動を通して感謝の意を表し、地域で生きる自分を考える～」をテーマに地域とのつながりの中で「自らの生き方を考える」学習を行っています。

(3) 生徒の企画・運営を中心に行う秋桜祭

学友会を中心として体育祭・音楽会・フリーステージなど生徒が中心となつて企画・運営し、全校が協力して進めています。また、意見文発表では、発表に対してフロアーから意見を述べ合うなど、双方向での活動となっています。

4 施設等の特徴

(1) 旧中込学校

明治時代に建てられた、現存する最も古い西洋風学校建築の一つで、重要文化財に指定されています。社会科の授業での学習します。

(2) 佐久市営陸上競技場

学区内なる全天候型競技場です。本校陸上部も放課後や休日の練習で利用しています。



東 中 学 校

所在地 〒385-0007 佐久市新子田1396-1

電 話 67-2392 FAX 67-2415

E-mail higashichu@sakushi.ed.jp



郷土より産出する二枚貝化石をデザインして、歴史的な意義を示している。三枚の葉は、カシの葉で向学心を表している。



1 学校教育目標

【切 磋 琢 磨】

＜鍛え・磨き・高め・輝く自分＞

～心豊かに人や地域と関わり合いながらたくましく生きていく生徒の育成～

2 本年度の重点目標

【生徒】

- (1) 誰とでもできるあいさつ
- (2) 気配りを育てる清掃
- (3) 歌声を響かす生徒

【教職員】

- (1) 学力の向上と定着
- (2) 良好な人間関係が築ける人づくり

3 特色ある教育活動

教科学習や総合的な学習の時間として、地域の人・もの・ことと関わり、生きる力を伸ばす学習を行う。

(1) 「郷土に学ぶ学習」

- ① この地域の良さに触れ、それを実感できるような内容や展開を工夫する。

② 主なテーマ

- ・全校 「郷土を描こう」(茨城牧場、鼻顔稲荷、学校での写生会)

(2) 「生き方に学ぶ」

- ① 人としてよりよく生きるために、必要な基礎的・基本的な内容を学ぶ。特に地域の方や専門的な立場の方から学ぶ機会を設けると共に体験的な学習を進める。

② 主なテーマ

- ・1年生 「植樹祭プランターづくり」「6年生と交流会をしよう」「性教育」「尺八」
- ・2年生 「自然・地域のよさ」「職業体験学習」「性教育」
- ・3年生 「WAZACAN(出前授業)」「性教育」「赤ちゃんふれあい体験」「保育実習」

4 施設等の特徴

○校舎に、郷土の民話や歴史・自然などを題材にしたレリーフやモニュメントが設置されている。

○屋根は寄棟の日本瓦で、隣接する長野支場の牧歌的雰囲気表現し、校歌にも歌われている「薨あかく そびえて建てり」を基に赤褐色の瓦を使用している。

臼田中学校

所在地 〒384-0414 佐久市下越286-1

電話 82-2139 FAX 82-2217

E-mail usudachu@sakushi.ed.jp



校章の由来：昭和37年、全国から1,086点応募、審査の結果、大阪の国賀恵美子さんが入選した。全体の形が、旧臼田町の地形と鳥のはばたきを型どり、若人の雄飛を象徴している。



1 学校教育目標

信頼される人になる

- | | |
|--------------------------|------|
| (1) 疑問を大切にし、学力を身につけよう | (知育) |
| (2) 優しさを大切にし、思いやりの心を育てよう | (徳育) |
| (3) 継続を大切に、強い心と体をつくろう | (体育) |

2 本年度の重点目標

- | |
|---|
| (1) 確かな学力をもつ生徒……………基礎・基本を大切に「自ら学ぶ・共に学ぶ・学び方を学ぶ」生徒の育成 |
| (2) 豊かな心をもつ生徒……………思いやり、人間関係力、自らの感性を磨く生徒の育成 |
| (3) 健やかな体を自ら育てる生徒…鍛錬、健康学習、食育推進を活かせる生徒の育成 |

3 特色ある教育活動

- ① 「協同的な学び」を学習の中核とし、「聴く・問う」「少人数で互恵的に語り合う」「友の声に耳を傾ける」「自己のわからなさを追究すること」等を手掛かりに、表現力や自己肯定感が高まる学びを目指しています。
- ② 「学校支援ボランティア」等で地域との連携を深め、地域行事にも積極的に参加して交流、親睦を深めています。
- ③ 「わが子にしてほしいことを、目の前のこの子にしていこう」を教師の合い言葉として、生徒の心に寄り添った支援を行っています。

4 施設等の特徴



現在の新校舎は創立50周年を迎えた平成25年に完成し、北に雄大な浅間山、南に八ヶ岳をのぞんだ新しい環境の中で、生徒たちは日々の学校生活をのびのびと過ごしています。

千曲川河畔の田園風景によく似合う美しい校舎と体育館が、毎朝登校する生徒を温かく迎え、暖かい日には中庭で、語り合う生徒の姿が多く見られます。

浅科中学校

所在地 〒384-2106 長野県 佐久市八幡150

電話 58-2101 F A X 58-3206

E-mail asashinachu@sakushi.ed.jp



学問を象徴するペン先に稲穂を配する校章は、先人の名を冠する五郎兵衛米の産地である浅科で、この稲穂のように実り多い学校生活を送り、英知にあふれる心豊かな人間に育ってほしいという願いが込められています。

開校の際に制定され、昭和35年の旺文社主催全国校章コンクールで三位に入賞しました。



1 学校教育目標 「志高錬成(しこうれんせい)」

志を高くもち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える

【めざす生徒像】

自ら考え判断し、明るく豊かな生活を創り上げていく生徒 (創造力)

【目指す生徒像に迫るためのつける力】

- 1 生徒自ら予想や課題を持ち、主体的に追究する力 (主体性)
- 2 仲間のよさから学び、互いに高め合うための関わり合う力 (共生力)

2 本年度の重点目標

○ 一人一人を大切にした指導

1 自立するための心の育成： **凡事徹底**を合言葉に

生徒会や学年・学級、部活動等、生徒による創造的な活動

- ・『挨拶』心を開き、人間関係を深めていこうとする生徒(コミュニケーション)
- ・『食事』生活リズムを正し、心身の健康づくりをしていこうとする生徒(食育・健康)
- ・『清掃』心を磨き、生きるための知恵を身につけていこうとする生徒(勤労・奉仕)
- ・『歌声』友と一つになり、自ら表現していこうとする生徒(協力・表現)

2 学力の向上

- ・朝10分間の読書から学習を始める。 ・「学習の心構え」を授業の基本とする。
- ・基礎基本となる学習内容の定着を図る。
- ・「ねらい」「めりはり」「みとどけ」を大事にした授業を進める。
- ・家庭学習の手引きを活用し、保護者と連携して家庭学習の充実を図る。

3 特色ある教育活動

○全員が参加する授業…自分の考えをもつ・書く・発する。

○地域を知り地域に学ぶキャリア学習と、福祉交流教育の充実

- ・様々な伝統・技能・文化等を知り地域の方から生き方を学ぶ。
- ・共生の精神を培い、福祉の心を持ち続けることを願い、地域の施設でのボランティア体験や障がい者の方から学ぶ体験学習を行う。

<1年>福祉体験学習 ・ 老人会の方々との交流

<2年>職業体験学習 (浅科地域を中心にして市内各事業所にて)

<3年>福祉施設体験学習 (市内福祉施設にて)

<2・3年総合的な学習>地域文化の継承「中山道宿場太鼓」

<支部生徒会>地域清掃

○人権同和教育の充実…教育活動全領域で日常的に行う。

- ・講師を招いての人権同和学习の実施 ・教職員の人権同和教育研修

4 施設等の特徴

浅科中学校は、昭和33年4月、東西二つの中学校が統合され出発しました。昭和62年に現在の場所に移築され、広い廊下と大きな窓、天文台を持つ校舎が誕生。北に浅間、南に蓼科を望み、緑豊かな早苗から黄金色の稲穂へと四季折々色彩が変化する風光明媚な環境の中にあります。最も環境の良い場所で理想的な充実した中学校生活をとという地域の思いと期待が受け継がれています。

望 月 中 学 校

所在地 〒384-0024 佐久市協和6925

電 話 53-3101 FAX 53-3102

E-mail mochizukichu@sakushi.ed.jp



若草色の三角形は蓼科山・若さを表し、赤い三角形は浅間山・情熱を表す。また黒線の三角と三条の線は学区内を流れる川・愛を、白い円は望月・円満・平和を表している。「中」は中学生を花の蕾に喩えた形である。



生徒が憩う開放感ある中庭

1 学校教育目標

- 1 学校目標 「自主・自律・愛他」
- 2 教育目標 「磨き合う」(生徒・教職員が共に育つ行動目標とする)
- 3 めざす生徒像
「豊かな心を持ち(心を磨く)、自ら学び続ける(知恵を磨く)、
健やかで逞しい(体を磨く)生徒」
 - ① 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、解決していける生徒(自主)
 - ② 自らを律しつつ、主体的に判断し、行動できる生徒(自律)
 - ③ 他人と協調し、他人を思いやる心や感謝する心を持つ生徒(愛他)

2 本年度の重点目標

- 1 安全で安心な学校ーいじめのない明るい学校、安全で安心して学べる学びの環境づくり
- 2 楽しく、分かる授業ー学ぶことが楽しいと実感できる授業の実践
- 3 生徒が主人公ー生徒の手によって運営される行事・生徒会活動
- 4 信頼される開かれた学校ーP T A・保護者・地域住民との連携を大切にした教育活動、積極的な授業公開、生徒の体験学習やボランティア活動の推進

3 特色ある教育活動

- 「お互いを尊重して、聴き、学び合う」ことへの指導・支援(教科)
 - ・「学びの共同体」づくりの取り組みを通し、生徒同士が関わり合う授業の推進。
 - ・朝読書、家庭学習等の学びの機会を充実し、学習習慣の習得。
- 「自らの生きる規範を自ら生み出す」ことへの指導・支援(道徳)
 - ・教師と生徒が、より良い生き方を求め、共に考え、共に語り合う指導。
- 「身に付けた知識や技能を関連付け総合的に働かせる」ことへの指導・支援(総合的な学習)
 - ・課題解決等に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考えさせる。
- 「望ましい集団活動の育成、学級作りの中で自己表現を図る」ことへの指導・支援(学級活動)
 - ・学級・学校生活に適応し、のびのびと明るく仲良く学習にいそしませる。
 - ・個性の伸長を図り、将来に意欲的に立ち向かう生き方の創造をさせる。
- 「個性・能力・適性の伸長(生涯を通じて生きる個人の持ち味づくり)」への指導・支援(部活動)
 - ・趣味や特技を発見し、生涯学習への基礎づくりをさせる。

4 施設等の特徴

望月地域の皆さんの願い・支援に支えられ、本校は創立50周年を迎えた。平成23年度より始まった校舎改築では、昨年度に特別教室棟が完成し、生徒たちは新しい校舎を使って伸び伸びと学習や諸活動に取り組んでいる。本年度は体育館改築のため、体育の授業や部活動、文化祭が従来通り行えなかったが、生徒たちは活動を工夫して前向きに組み、間もなく完成する新体育館を楽しみに待っている。平成28年度にはすべての工事が完了し、豊かな自然に恵まれて落ち着いた環境の中で、生徒たちは学習・活動に再び思う存分取り組めるようになる。